

平成 26 年 1 月 9 日

警戒避難に関するアンケート調査

九州地方整備局 河川部

九州地方整備局 川辺川ダム砂防事務所

九州地方整備局では、頻発する豪雨災害や近年注目されている山地部での大規模な災害の発生に備え、警戒避難や情報伝達に関する調査を実施しています。

九州山地に位置する自治体や地域の方々へ、本調査票をお読みいただきながら、アンケートにご回答をお願いします（選択肢に○をつけて頂くか、コメント記入を頂くやり方です）。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

回答・記入いただいた本調査票は、12月〇〇日迄にご回答いただけますようお願い申し上げます。

1. 過去に経験した土砂災害時の状況やその時とった行動について伺います。

設問1 過去に土砂災害を経験したことがありますか？

- ①自宅、あるいは所有する土地等が被害にあった。
- ②直接の被害はないが、住居地区（あるいはその近く）で起きた。
- ③経験したことはない

設問2 その災害の際に避難したことがありますか？

（土砂災害を経験したことがない方でも避難の経験があれば①にしてください）

- ①避難したことがある ⇒ 設問3に進んでください。
- ②避難したことはない ⇒ 設問4（次ページ）に進んでください。

設問3 設問2にて“避難したことがある”を選択された方にお聞きします。

災害がおこった時どこに避難されましたか？ また、避難したきっかけを教えてください。

【避難の場所】

- ①指定された避難所
（具体的な場所： _____)
- ②知人の家等、自宅と別の安全な場所
（具体的な場所： _____)
- ③その他（ _____)

【避難行動のきっかけ】

- ①自主的に避難した
- ・暗くなると逃げにくくなるので、明るいうちに避難しておこうと思ったから
 - ・災害が発生すると道路が危なくなるので、その前に避難しておこうと思ったから
 - ・自宅が災害にあうのではないかと不安に思ったから
 - ・自宅では小人数で不安なため、より安心できる場所がよいと思ったから
 - ・その他（)
- ②過去の災害の経験を踏まえて避難した
- ③地域における伝承があり、それに従った
(具体的に：)
- ④周りの人に「避難しろ」と言われた
- ⑤土砂災害の予兆があったから
- ・沢の水が濁った
 - ・鉄砲水があった
 - ・異常な音
 - ・落石
 - ・その他（)
- ⑥周りの住民が避難したから
- ⑦避難指示・避難勧告が発令されたから
- ・テレビ、ラジオ
 - ・インターネット
 - ・防災無線
 - ・PCメール
 - ・携帯メール
 - ・人を介して
 - ・SNS*
 - ・その他（)
- ⑧その他（)

※SNS（ソーシャルネットワークサービス）：

スマートフォンで行うネットワークサービス（ロコミ回覧版のようなもの。Twitter や Facebook などが有名）

設問4 設問2にて“避難したことはない”を選択された方にお聞きします。
避難しなかった理由を教えてください。

【避難しなかった理由】

- ①夜間で避難所に行くまでが危ないと思ったから
- ②雨の中、移動するのが危険と思ったから
- ③避難所まで遠かったから
- ④避難場所を知らなかったから
- ⑤自宅の方が安心と考えたから
- ⑥避難を判断する情報がなかったから
- ⑦避難場所が危ないと思ったから
- ⑧その他（)

2. 今後、避難する必要が生じた場合のことを想定して、下記の問いにお答えください。

設問 5 災害発生時にどのような情報があれば、避難しようと思いますか？

- ① 気象庁の大雨情報（注意報・警報・特別警報）や土砂災害警戒情報
- ② 役場からの避難勧告、避難指示
- ③ 役場の広報車の呼びかけ
- ④ 防災無線の呼びかけ
- ⑤ 地区の防災リーダー等の呼びかけ
- ⑥ その他（)

設問 6 自分の身に危険を感じ、避難行動を起こそうとしたとき、あなたはどこに避難しますか？

- ① あらかじめ定められた避難所
- ② 近隣の家
- ③ そのまま自宅にいる
- ④ 自宅の中で、2階や山の反対側など少しでも安全と考えられる場所
- ⑤ 特に決めていない
- ⑥ その他（具体的に：)

設問 7 上記（設問 6）の場所を選んだ理由を教えてください。

- ① 安全な場所と考えているから
- ② 役場の担当者の方などが居てくれて安心できる場所だから
- ③ 行くことで災害の状況などの情報が得られるから
- ④ 自宅から近いから
- ⑤ 地域の人が集まり、安心できる場所だから
- ⑥ その他（)

設問 8 避難所にどのような機能があれば、行こうと思いますか？（複数回答可）

- ① 災害情報が把握できるテレビ・ラジオ
- ② 夜でも明るい照明
- ③ 寒い時に使える毛布などの寝具
- ④ 災害時でも役場と通じる電話・無線
- ⑤ その他の設備（)
- ⑥ 役場の人がある
- ⑦ 地区の方が集まっている
- ⑧ その他（)

3.災害時に有用な情報システムについて伺います。

設問 9 県や国などが提供している以下のサービスについて、知っている、又は使ったことがあるものを教えてください。

(知っている場合は○、使ったことがある場合は□で囲んでください)

- 県 ①防災情報ホームページ ②土砂災害情報ホームページ
国交省 ③国土交通省ホームページ(川の防災情報、防災情報提供センター等)
④国土交通省携帯版のホームページ
気象庁 ⑤気象庁ホームページ(jma.go.jp 等) ⑥気象協会ホームページ(tenki.jp 等)
⑦スマートフォン等で見れる気象・防災関係のアプリ・ホームページ
(判れば具体名を教えてください： _____)
NHK ⑧地デジのデータ放送(防災情報・河川情報等)
その他 [よく使っている災害に関する情報サービスがあれば教えてください]
(_____)

設問 10 災害時、避難先で必要な情報項目は何だと思えますか？

- ①安否情報 ②気象情報 ③地域の被災状況の情報
④救助や復旧活動 ⑤他の避難所の情報 ⑥道路交通情報
⑦その他 (_____)

設問 11 災害時、避難先で必要と考えられる伝達手段は何だと思えますか？

- ①電話 (有線・携帯・衛星携帯)
②ファックス ③防災無線 ④インターネット
⑤メール ⑥緊急速報エリアメールサービス
⑦SNS ⑧人を介して
⑨その他 (_____)

※SNS (ソーシャルネットワークサービス) :

スマートフォンで行うネットワークサービス (ロコミ閲覧版のようなもの。Twitter や Facebook などが有名)

設問 12 災害時や避難のときに、情報や行動に対して困った、こうあればいいのに、と思うことがあれば記入下さい。(自由回答)

(_____)

4.：深層崩壊について伺います。

設問 13 「深層崩壊」という言葉をご存知ですか？

- ①知っている。その内容、現象もだいたい理解している。
- ②聞いたことがあり、だいたいどういうものか想像できる。
- ③聞いたことがない、知らない。

設問 14 あなたが住んでいる近くでこのような災害が起こると思いますか？

- ①思う
- ②思わない

★深層崩壊とは？

- 山崩れ・崖崩れなどの斜面崩壊
- 表層だけではなく、深い地盤もまきこんで崩れるため規模が大きい

★深層崩壊は表層崩壊、がけ崩れ、地すべり、土石流などと何がちがうのか？

- 深層崩壊は崩壊の形態を表した言葉で、がけ崩れ・地すべり・土石流は土砂災害の形態を表した言葉である。
- 崩壊は表層崩壊と深層崩壊に分けられる（表層崩壊でないものを深層崩壊と呼んでいる）。

★事例

深層崩壊に伴う移動土塊がそのまま土石流となって流れくだる場合^{事例1}や、天然ダムを形成する場合^{事例2}などがある。

事例1) 宮崎県鰐塚山(2005年)

事例2) 宮崎県耳川(2005年)

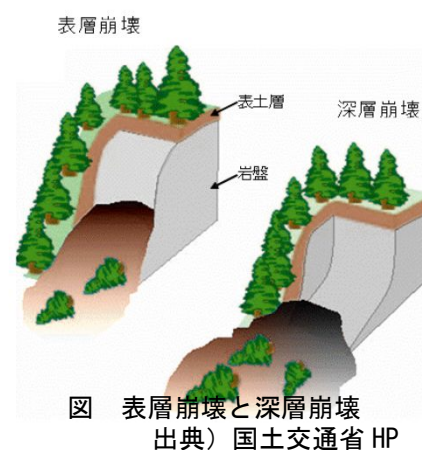


図 表層崩壊と深層崩壊
出典) 国土交通省 HP

出典) 国土交通省 HP 深層崩壊とは

※天然ダム：大雨や地震、火山噴火などの自然現象により、土砂などが河川の水の流れを堰き止めるようになった地形をいう。また、この地形によって形成された、水を大量に蓄積する現象を指す場合もある。

5.あなたのことについてお聞かせください。

設問 15

年齢

- | | | | |
|------|------|------|--------|
| ①10代 | ②20代 | ③30代 | ④40代 |
| ⑤50代 | ⑥60代 | ⑦70代 | ⑧80代以上 |

設問 16 性別

- | | |
|-----|-----|
| ①男性 | ②女性 |
|-----|-----|

設問 17 居住地区

【都道府県】

- | | | | |
|------|------|-------|----------|
| ①熊本県 | ②宮崎県 | ③鹿児島県 | ④大分県 |
| ⑤長崎県 | ⑥佐賀県 | ⑦福岡県 | ⑧その他（ ）県 |

【地区名】

（ ）市・郡（ ）区・町・村（ ）

質問は以上です。ありがとうございました。